

神林地区の

まちづくり

第12号

2021.3 発行

Contents

- まちづくり協議会の活動 2・3p
- 関係人口創出事業ミーティング 4～8p
- 令和2年度のあゆみ 9p
- かみはやし名所マップ 10・11p
- 「かぼちゃのお化け&気になるかかし祭り」ベストショット ... 裏表紙



平 林：体験学習（松沢集落）



神 納：チューリップ球根植栽（山田・岩野沢集落）



砂 山：お幕場クリーン作戦



西神納：集落美化活動（南田中集落）



神納東：山元遺跡現地説明会

まちづくり協議会の活動

各協議会で実施された野外活動など

令和3年度の活動に向けて



神林地区まちづくり協議会連絡会議

座長 竹内友二

していかねばならないと思っております。

令和2年度は春からコロナ禍で、私も協議会はなかなか活動ができない状況が続きました。まちづくり協議会も発足後、9年が経過し、第3次のまちづくり計画を終え、第4次まちづくり計画のもと新たなスタートを切ります。

神林地区は、発足当時から人口減少や高齢化社会の中で、それぞれ協議会がどのように地域づくりを進めていくか色々創意工夫をして事業を進めてまいりました。コロナ前のような活動が実施できるか分かりませんが、令和2年度同様に感染症対策も含めて対応

さて、当地区では他地区同様に人口減少と高齢化率の上昇が急速に進んでおります。更に地元に住住する若者が少なくなっています。これからそう遠くない時期には、集落の行事なども運営、維持が出来なくなっていくのではないかと心配しています。それを防ぐためにも、神林で生まれて、今は地域外に住んでいる方、あるいは地域外で生まれて、今は神林に住んでいる方を呼び込み神林のファン作りを進めることで、元気で魅力ある神林へとつなげていく時代になってきていると感じております。今まではどちらかというと内部向けの活動を多く取り組んできましたが、これからは外へ向けた発信や活動というものを、5つの協議会が力を合わせて取り組んでまいります。

令和2年度事業計画案などの総会資料を作成し、通常総会の開催に向けて準備を進めていきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況から代議員などの出席者の感染防止を第一に考え、5つの協議会全てで総会を書面による議決としました。

書面議決後もコロナ禍は続き、4月16日には新潟県にも緊急事態宣言が発令され、例年実施していた運営委員会

も開催できず、活動自体が停止する事態に陥りました。

5月25日に、緊急事態宣言が解除されると、感染防止対策をとつたうえで、徐々に活動を再開することができました。しかしながら、屋内での事業は「三密」を避けるためほとんどが中止となり、屋外での活動が中心となった1年でした。



雨の中、草刈りを行う地域の役員の方たち

平林地域まちづくり協議会

8月9日(日) 旧平林小学校整備事業

平林地域区長会と連携し、昨年3月末に廃校となった平林小学校を守っていく活動の一環として実施しました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、地域の30人以上が参加しました。

参加した人からは「子どもたちが通っていた時のようにきれいになった。」と喜びの声を聞くことができました。



山頂から日本海東北自動車道を望む



美しい塩谷海岸を目指してゴミ拾いに精を出す

神納東地域まちづくり協議会

8月2日(日) 山元遺跡現地説明会

旧神納東小学校の裏山に位置する「山元遺跡」の現地説明会を地域の人を対象に開催しました。

村上市教育委員会から職員をお招きし、遺跡の説明を聞いたあとに、現地に移動し、山頂などで遺跡を見ながら説明を聞きました。

参加された人は、「説明を聞いた後に現地を見たので、分かりやすかった。」という声や、「今後、地域の人たちを対象に、現地説明会を開催してはどうか。」などの意見もありました。

砂山地域まちづくり協議会

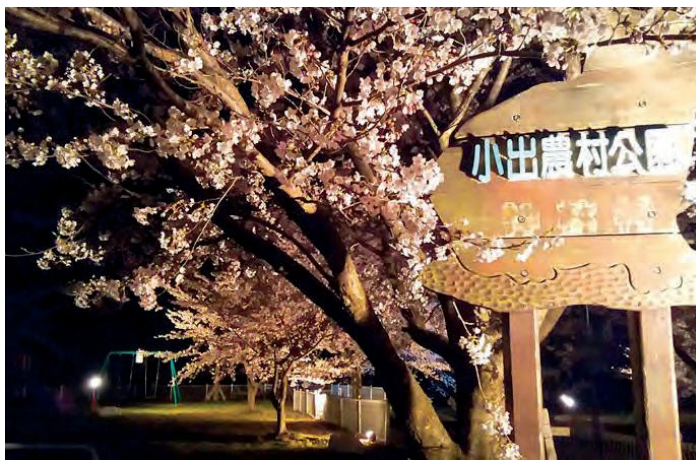
7月27日(月)

北陸地方整備局長表彰を受賞(塩谷集落)

長年にわたり塩谷海岸の清掃活動を実施し、住民相互の融和と地区の発展にも貢献してきたとして、北陸地方整備局長表彰を受賞しました。10年以上前から毎年住民100人以上が参加し実施し、旧平林中学校の生徒も積極的に活動に協力してくれました。塩谷区では「これまで参加していただいた方々に感謝を忘れずに、環境美化活動に取り組んでいき、未来の子どもたちのために塩谷海岸を守っていきたい。」と考えています。



参加者全員でプランターに花を植える様子



ライトアップされた小出農村公園の桜

西神納地域まちづくり協議会

6月14日(日)

花いっぱい運動(大塚集落)

プランターに植栽し、集落のふれあいセンターの周辺に設置。集落住民の皆さんが気持ちよくセンターを利用できるようになりました。

コロナ禍の影響もあり、参加人数も例年より減少しましたが、事業を行うことで集落のつながりを強くすることが出来ました。

神納地域まちづくり協議会

4月 農村公園の桜のライトアップほか

各集落では、さまざまな事業が行われましたが特に、桃川集落では、例年、環境美化活動後に収穫感謝祭を実施していましたが、令和2年度は、美化活動終了後、そばを各世帯に配り収穫の感謝を込め喫食していただきました。河内集落では、ホテルの里づくり活動とクリスマスイルミネーションの設置や、小出集落では、4月に公園の桜のライトアップを行い、8月には何年かぶりの盆踊り大会を計画しましたが、コロナ禍のため開催を断念しました。

本年度は、新型コロナウイルスが収まる事を願い、地域内の信頼関係を築きながら互いに助け合える地域を目指して活動を進めていきます。

特集

関係人口創出事業実行委員が語りました

未来の"かみはやし"をどうデザインしますか？

1月21日(木)、神林支所に、令和2年度関係人口創出事業実行委員として活動した6人が集まり、未来の"かみはやし"について大いに語りました。

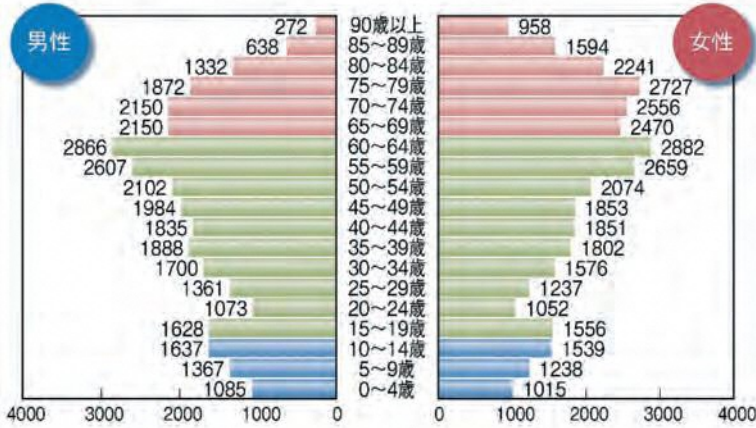


図1 人口ピラミッド (2010年・平成22年)

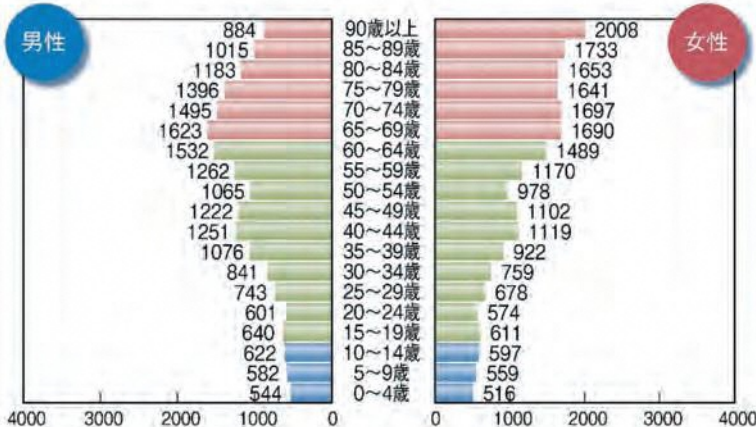


図2 人口ピラミッド (2040年・令和22年)

村上市の人口ピラミッド (村上市HPから引用)

■避けて通れない人口減少
 内山：令和2年度は、神林地区関係人口創出事業実行委員会（以下、「委員会」という。）を立ち上げましたが、コ



情報発信部会長 (進行役)

内山 秋善さん
 (調整部会兼務)

ロナ禍のため計画していた事業を縮小しての開催となりました。今日は、今後の活動に向けて「未来の"かみはやし"をどうデザインしますか？」をテーマにお伺いします。最初に、村上市の人口ですが、合併当時、約7万人いましたが、今は約5万8千人にまで減少しています。年間千人ペースで減少して8千人になる計算です。続いて、村上市の人口ピラミッドの推移(図1・2)ですが、2010年当時に多かった高齢者も減少し、約20年後の2040年には、全ての年齢層で人口が減少する推計が出ています。

ここに注目

今後の日本はこう変わるといわれています

2025年	団魂世代が全て75歳以上⇒社会保障費が膨らむ
2027年	献血量が不足し手術や治療に支障が懸念される
2030年	百貨店、銀行、スーパー、老人H、病院が減少する
2033年	空き家が2,167万戸に。3戸に1戸は空き家になる
2035年	男性3人に1人、女性5人に1人が生涯未婚となる
2039年	死亡者数が167万人を超え、火葬場不足が深刻化
2040年	全国の自治体の半数近くが消滅の危機に晒される
2050年	世界人口が97億3,000万人となり食料争奪戦に
2050年	現在の居住地の20%が誰も住まない土地となる

「未来の年表 人口減少日本でこれから起きること」から引用
河合 雅司 著（講談社現代新書 発行）

「コロナ禍」で生活に変化

内山：コロナ禍により、在宅勤務が増えている、固定住宅が不要な人もいますね。若者の間では、ホテルに住んだり、空き家をシェアして生活している人が増えています。私は、神林にも人が来るチャンスだと思っています。また、アドレスホッパーといつて、仕事をしながらあちこち転々として暮らす人もいます。月額6万円で利用できるホテルもあり、光熱費やネット代も込み。下宿より安いんですね。都心では千葉、埼玉、神奈川県への転出者が増えているそうです。在宅勤務で通勤が不要なので、どこに住んでもいいわけですね。消費の傾向も変わってきました。会社帰りに会社近くの駅前

の居酒屋で一杯が通例でしたが、在宅勤務なので家族の希望が第一優先。地元での飲食が増えているそうです。

「かみはやし」の魅力

内山：道の駅神林「穂波の里」が活況を呈していて、遠方からのリピーターの人もいます。新潟県観光企画課が公表した平成29年新潟県観光入込客統計では、道の駅神林「穂波の里」が村上市内では、瀬波温泉に次いで第2位。県内全体では40位で、年間に28万6360人の人が訪れています。神林は、海、山など自然があり、お米や野菜、味噌、醤油など食べ物が豊富で美味しくてレベルが高い。名水百選の荒川を水源とする水が飲める。空気が美味しい。人が優しい。歴史文化遺産が多いのも魅力のひとつです。神社はほとんどの集落にあり、お寺は21寺あります。交通アクセスですが、新潟市から1時間、東京からは3時間未満で来れます。病院、スーパーマーケットも近くにありません。

活動を振り返って

内山：ここからは、令和2年度の活動を振り返りますが、どうでしたか。

八藤後：非常に楽しい活動だと思いましたが、情報発信されていなくて、もったいないと感じました。また、地域外から人を呼び込むのも大事ですが、県外に進学予定の子どもにどれだけ神林を自慢してきてもらえるか。そして、どれだけ人を連れてきてもらえるかを考えながら活動した1年間でした。



調整部会委員
八藤後 瑞枝 さん

近：私は十数年、新潟市内に住んでいて、3年前に神林に戻ってきました。活動の序盤は、関わり方のイメージが湧かなかったのですが、一生懸命やらせてもらいました。関係人口について深く考えたのですが、神林全体として興味がなく盛り上がり欠けると思いました。だからこそ活動の意味があると思います。今回の活動は小さな小さな一歩だととらえて、コロナ禍でもやれたのは、プラスだったと思います。



運営部会委員
近 英 俊 さん

板垣：私は生まれてこの方、神林ですと生活しています。私が若い時は、活性化の議論の必要がなかった。しかし、職業の多様化など生活環境にも変化があり、地域の活動に興味がない人が増えたのかなと思います。だから、こういう活動がいまさらながら、注目されていると思います。活動を通して感じ

たことは、非常に面白いと思いました。また、関係人口については、神林外との交流を深め、力をお借りするのが、本来の狙いなのかなと。参加しても面白かったですが、あとあとつなげていくと結構重いなと思う。最初に地域内でワークショップをして、いろいろと検証し、次に対外的に発信したりする人がいるのか。それから始めていきたいなど、痛感した1年でありました。



調整部会委員
板 垣 栄 一 さん

天井：私は神林に住むまで地域の活動を遠目に見ていて、地域に人を呼び込むような考えができるか不安でしたが、意見を積極的に受け入れてもらえたので、とてもやりがいを感じました。活動が縮小され思うようにはいきませんでした。だが、神林をよく知る機会になりました。**佐藤**：平成29年度で活動を終えた地域審議会での意見（6頁上段に記載）を誰が検証していくのが大事だと思っていて、神林地区活性化協議会、そして、令和2年度に立ち上げた委員会につながっていくと思います。私はこの活動が、「フェスティバル」で終わらないかと心配していました。令和3年度に向けて、事業の目標をイラストレイトすることが大事だと思っています。

神林地区関係人口創出事業実行委員会の設立について

神林支所では令和元年度、総務省の「関係人口創出・拡大事業」のモデル事業を活用し、短期インターン生と農家のお母さん方の交流を密着取材する事業などを行い、関係人口を創出するための活動をスタートしました。

令和3年度、神林地区の5つのまちづくり協議会、神林地域活性化協議会が連携し、地域内外を問わず子どもから大人まで魅力的な地区の元気な姿を発信して、今後の関係人口につながる地域づくりを神林地区全体で進めるため、「神林地区関係人口創出事業実行委員会」を立ち上げました。



農家のお母さんと学生が収穫作業を行う様子

平成29年度で活動を終えた「神林地区地域審議会」では、現在の活動につながる意見が出されていました

- ・人口減少が急激に進み、将来の不安が大きい。重要課題として早急に具体策を進めるべき。
- ・Uターン、リターンを含め、若者を呼び込む施策を早急に始めなければ将来が危ない現状だと思う。農林漁業の従事者は減少傾向にあるが、若い人の意見、希望を聞いてみる価値はあると思う。

■神林ファンを増やすには

内山：神林に来てもらい、交流人口を増やす。次に、続けて来てもらい関係人口になってもらう。最終的に「第2のふるさと」と思ってもらえる「神林ファン」を増やすには、何が必要ですかね。

八藤：情報を必要としている人に効果的な情報発信を行い、コロナ禍が収まったら、絶対来たいと思われる神林でありたいですね。

板垣：来てもらえるための創意工夫を検証する必要があると思います。そのためには一緒に活動する仲間が必要かなど。そして、行政などが力強くサポートしてほしい。また、情報を発信して、地域外の人とも一緒にやろうと呼び掛けたい。まずは、私たちが神林を理解して負担にならないように楽しむ。それが一番かなと思う。

近：神林の強みを見つける必要があると思います。私が好きで参加している県内のあるマラソン大会では、コース中に準備されているエイドステーションを集落で運営している。すごい山の中ですが老若男女が工夫を凝らして応援してくれて、参加者をもてなしてくれる。やっぱり、遠くてもそこに行ってみたいというものを作っていくか、と難しいと思います。

佐藤：神林の魅力は、第一次産業がもたらす風景。山紫水明の地。これを残すために、今、何をすべきか考えています。この地に来ると、健康寿命の延伸につながる食文化がある。美しい地で運動や学ぶことができる。このよ

うな場所は、あるようでないような気がしています。神林が誇るきれいな風景を残すことができれば、また来たいと思わせるのは難しくないと思います。



実行委員会副会長
佐藤 巧さん
(調整部会長兼務)

天井：学生の母親である私から見ても子どもたちの日々の姿を見てほしいです。小さい集落が多く、学年関係なく一緒に遊び、上の学年になると小さい子の面倒を見るようになります。近所との交流も多く、学校へ行くと話し掛けてくる子どもたくさんいます。とても心豊かになる環境で育っていると思います。この素晴らしい子どもたちに他地区との交流機会を設けて、沢山の友達を呼んでもらえれば将来の関わりにつなげて行けるのではないのでしょうか。



運営部会委員
天井 久美子さん
(情報発信部会兼務)

■「かみはやし」の日常でもてなす
内山：地元にいると気づかないことが

結構ありまして。単身赴任をしていた時、飲み水を購入して飲んでいたら市町村がありました。神林は常においしい水が飲める。外から見た神林はどんな魅力がありますかね。

近：神林の強みは農産物と醸造文化で、情報発信が力ギになると思います。動画投稿サイトで、関川村の丸重商店さんと、塩谷の野澤食品工業さんがコラボして味噌蔵見学のイベントを行っていました。地域の垣根を越えて文化を広げる活動にSNSを活用していました。いろいろな人が関わっての情報発信が必要だと思います。

内山：今ほど出た塩谷は歴史が古く、多くの遺産があります。昔は、北前船が寄港して、東北全体から集めた漆を全国へ運んでいた。塩谷の漆、北前船の文化は全国的に見ても貴重だと思つのですが、神林の人でも案外知らないですね。桃川のおたきさま、多伎神社について、お願いできますか。

板垣：2年前に名水百選に選ばれ、そこから、集落で倒木の処理や、看板設置などを行っています。私は、地域の宝だと思っていて、改めて我々が知る必要があると思っています。先日も孫を連れて滝を見てきたのですが、学校で桃川には由緒ある滝があると話してもらえれば、教えなくても情報発信につながると思うんです。

内山：神林の食べ物など「モノ」は魅力的ですが、ファンになってもらうには「モノ」の他に、歴史や文化に裏打ちされた生活、伝統も含めて売り出さないとダメかと思えます。来る人は「モ

教えて！「関係人口」とは！？

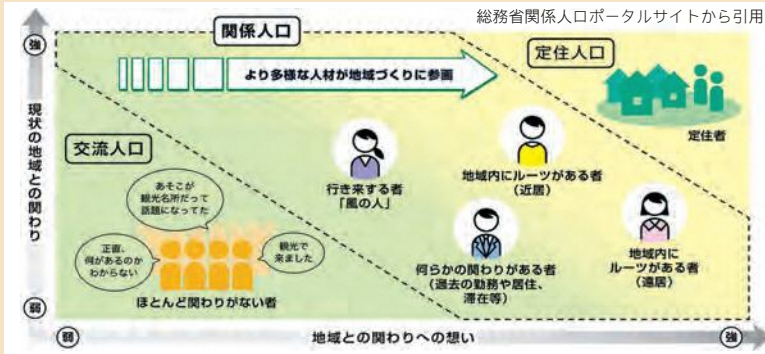


図3 交流人口→関係人口→定住人口の流れ

地方は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。移住した「定住人口」や観光に来た「交流人口」でもない多様に関わる人々を指します。分かりますと、神林地区で生まれ育ち、現在は地区外で生活している人、生まれも育ちも他地区の人が、神林地区に縁があり地区の活動に参加する人をいい、多くの方が神林地区に訪れて活動することで、地域の活性化が図られることを期待しています。

「ノ」と日常では体験できない「コト」を期待していると思うのですが、受け入れる側として何が必要でしょうか。

近：単発ではダメかな。例えば、大平山の登山道整備後にキャンプをして、ポーラースター神林で星を見て、神林の食材を食べて。年間を通して交流し、ともに汗を流して達成感を共有することが縁につながると思います。

内山：実は普通を期待してその地を訪れるとの話もありますが、どうですか。

佐藤：受け入れる側として集落を案内できる人が大切で、来た人に教えることで、住んでいる人にも気付きを与えられればいいと思います。できれば、各集落に一人は案内できる人がいれば受け入れやすい環境になると思います。

内山：そこが課題で、神林外の人の受け入れを拒む人もいます。今は困ってなくても、人が減ると若い世代は困ることが増える。今から準備が必要だと思います。また、地元にいる子どもや孫には故郷を愛して語ってもらえる存在になってほしい。今から、神林の歴史や文化を伝える必要があると思います。また、来る人にとっての非日常ですが、常に使っているものでもてなす。私たちの衣食住全てが対象だと思っています。特別な事をすると思え入れる側も続かないですね。

■点と点を結び「線」にする

内山：先日の委員会の役員会で令和3年度の事業について、神林商工会、かみはやし農業協同組合、総合型地域スポーツクラブ希楽々、とれたて野菜市

「かみはやし(株)、神林地区公民館の5団体と協力して事業を実施したいと話していました。私の案(図4)ですが、「かみはやしフェスティバル」を「オール神林」で開催します。そして、スマホのアプリを活用して、来場時などにポイントが付与し、ポイントにより特典が受けられます。アプリの開発費がかかりますが、会報や案内も送ることができ、「神林ファン」を獲得できる仕組みだと思えます。会場ですが、年間利用者が多い道の駅神林「穂波の里」、パールパーク、



図4 内山情報発信部会長がイメージする活動内容

改善センターの3会場での開催になると思いますが、いかがでしょうか。

板垣：イベントを連携し、どれに参加するか選べる。そして、情報を発信する。非常に面白い取り組みだと思う。ただ、関係者だけでなく、神林の人たちにも関わってもらいたい。各集落にも誇れることがあるし、熱くなれる人たちが発掘して。そして、協力団体にバックアップしてもらい活動し情報発信できれば、長続きすると思います。

佐藤：これ(図4)は交流人口で、この次が関係人口だと思います。そして、協力していたら5つの団体の課題を見つけて、克服するために関係人口があるんだと理解しておかないといけない。そして、交流人口を最終的に関係人口にするというラストマイルする必要があります。大事な一幕を何のためになるのか共有していないと空振りになってしまう。アプリは行政が第三者的な立場でサポートしてもらえると、多くの方が安心して利用できると思います。

内山：各団体も組織がどのように変わっていくかを把握し行動してほしいということかと思えます。ぜひ、「ワガゴト化」してほしいです。情報発信ですが、令和元年度に講習会を行い「＃かみはやし」をつけてSNSに投稿するとしたのですが、投稿件数が2200件(令和3年1月現在)です。もっと増えると思ったのですが、効果的なSNSの活用といっても、使わなきゃです。紙媒体は費用がかかりますね。公益団体のHPも活用したいですね。



「#うえるかみing」とは？

「#うえるかみing」とは、「ウェルカム♪かみはやし♪カミング（来るの進行形）」の略語で、「関係人口」として神林地区に来られた人たちを呼ぶものです。広報誌のタイトルとしても使用しています。

神林地区の魅力や情報を、画像や動画で発信することを目的として、インスタグラムを利用しています。

「#かみはやし」、「#うえるかみing」を付けて、発信してください。



Instagram #うえるかみing

■今後の活動にむけて

内山：今後の関係人口創出事業についてどうですか。

天井：この事業を通して神林の皆さんの想いを、もっと伝えたいです。優しさや面白さ、努力してこられ長寿であるなど、人柄の良さを伝えられるよう

に。神林の人柄にふれあえるような事業になることを望みます。

近：情報発信ですが、例えばとれたて野菜市の野菜にQRコードを載せて読み取ると調理動画が見れると面白いと思います。私は、新潟県の妻有地方で開催される「ツールド妻有」に、十年以上も参加しています。コース中のエイドステーションでは元気なお年寄りの皆さんが普段食べている美味しい野菜を渡してくれるんですが、その表情や交わす言葉に元気をもらっています。こんな風土が醸成できたらなんと羨ましいと思うのですが。一朝一夕ではできないので、手探りでも、一つ一つ手を付けていけば着実に前に進めると思っています。

内山：QRコードは名所でも活用できますね。道の駅のディスプレイで神林の名所を流していただけると伺っているので、PRできればいいですね。

八藤後：息子が高校卒業後、進学で県外に行くと思うのですが、神林に戻ってきたいと思ってもらえるように伝えたいと思いました。そして、地域全体がそう思って取り組まないといけないのかなと思いました。

内山：進学するのを止められないですが、神林のことを出会う人に喋って発信してほしいですね。

板垣：大変難しいことだなと(笑)家族と子ども、孫くらいには自分の想いを、気持ちを伝えてあげたいと思います。もう一点、行政では移住定住支援関連の政策はありますか。

内山：東京圏からの移住の人を対象とした制度はありますね。

板垣：もっと積極的に発信してほしいと思います。そして、来た人たちには、周りに我々がいるからと。一緒に作り上げていこうよと声を掛けていきたいと思えます。

佐藤：神林の持つアナログとデジタルをつないで、素晴らしい情報発信ができると思うので、ぜひ行政でやっていただきたいと思います。私は集落区長でもあります。もしも私たちの集落に子どもが一人も住んでいなくなってしまうと、この里地里山が維持できるように「退職した人が健康寿命の下で暮らせるよ。都会で疲れたらリフレッシュできるよ」という誘い方ができる雇用場としても受け入れられる集落にしたいと考えています。孫には挫折したらいつでも帰って来いよと言っている。夢に向かっているときはみんな一生懸命だけど、挫折は味合うもの。夢に破れた人が帰ってくる場があるのも、集落を維持する理由かなと思っています。

内山：今日のようにもっと話すことが大事だと実感しました。今後はNPO法人を立ち上げ、未来へつなげていかないと。先進地は組織化され、専従の職員が担当している。整備をして、初めて描いた絵が現実になって具体的なスケジュールを組めると思うので。アプリの開発など行政も「ワカゴト化」して、応援をしてほしいと思います。ありがとうございました。

■神林地区関係人口創出事業実行委員会名簿

(R3.3.1 現在)

会長	竹内友二	委員	野澤道雄	(運営部会)
副会長	佐藤澄子			(情報発信部会兼務)
副会長	川崎一	委員	木村竜也	(調整部会)
副会長	板垣栄			(情報発信部会兼務)
監事	松本富	委員	岸正浩	(運営部会)
監事	内山秋善	委員	高木正雄	(調整部会)
		委員	小田徹	(調整部会)
委員	大嶋芳美	委員	近英俊	(運営部会)
委員	尾方己西	委員	八藤後瑞枝	(調整部会)
委員	小池信義	委員	天井久美子	(運営部会)
委員	森田和之			(情報発信部会兼務)
委員	鈴木佐登志	委員	坂上和	(運営部会)
				(情報発信部会兼務)

(順不同、敬称略)

神林地区関係人口創出事業実行委員会

令和2年度のあゆみ

神林地区関係人口創出事業実行委員会（以後、委員会という。）では、参加者を募集してカボチャの栽培からランタン作りまで参加者と一緒に行う予定でしたが、コロナ禍のため委員だけで活動を行いました。ここでは、令和2年度の活動についてお知らせします。

7月6日 委員会、設立準備会

令和2年度の取り組み事業、委員会の設置要綱、役員の選出等について協議

7月30日 第1回委員会、第1回専門部会

事業開催日、予算、事業のイメージや事業の将来像について協議

8月3日 第2回専門部会

実施事業の内容について調整部会・運営部会・情報発信部会ごとに分かれて協議

8月14日 うえるかみ ing 創刊号発行

関係人口とは、会長挨拶を掲載



うえるかみ ing 創刊号
こちらの QR コードから観覧できます



10月24日 第3回委員会

「カボチャのお化け&気になるかかし祭り」開催道の駅神林「穂波の里」に展示するかかしの作成やカボチャの加工などを実施し、25日の夕方にライトアップ

12月1日 うえるかみ ing 第3号発行

10月24日に開催した「カボチャのお化け&気になるかかし祭り」の事業報告を掲載



うえるかみ ing 第3号
こちらの QR コードから観覧できます



12月11日 第4回委員会

10月24日の活動の振り返り、令和3年度の事業計画について協議

8月26日 第3回専門部会

実施事業の内容について調整部会・運営部会・情報発信部会ごとに分かれて協議

8月31日 役員会

コロナ禍での事業内容等について協議

10月5日 第2回委員会

事業の規模縮小、決算見込について協議

10月15日 うえるかみ ing 第2号

「規模を縮小しての開催のおしらせ」を発行



うえるかみ ing 第2号
こちらの QR コードから観覧できます



1月18日 役員・部会長及び共催者会議

令和3年度の事業選定について協議

1月21日 関係人口創出事業ミーティング

「未来の"かみはやし"をどうデザインしますか？」



2月9日 役員・部会長及び共催者会議

令和2年度の事業報告、決算見込の説明や、令和3年度の事業案、予算案を説明



10 お幕場森林公園（北新保）



国道345号沿いの美しく広大な赤松林で「日本白砂青松百選」にも選出された。森林公園内には遊歩道が整備されており、新潟県の健康ウォーキングロードに指定されている。

神林岩船港ICから車で5分

11 円福寺（塩谷）



真言宗のお寺で御沢仏堂と呼ばれている。御本尊の大日如来像を取り囲むように、24体の仏神が安置。（常時公開は行なっていません。）

神林岩船港ICから車で10分

12 稻荷山（塩谷）



日本海、塩谷の街並みが一望できる。新潟県で一番低い山と言われており、平成24年1月に国土地理院の地図上に「稲荷山 15.3」と表記された。

神林岩船港ICから車で10分

13 松沢ハインバレー湿原（松沢）



農配水用堤（約5,000m）が用途廃止後に堤体を2m程切り下げ、縦横に手作りの浮き木橋（約200m）が配置されていて、それが湿原に何とも言いえない味わいを醸し出していて尾瀬が思い浮かぶ。また、草木本350種も観察できるようになっている。

神林岩船港ICから車で10分

14 国指定史跡「平林城跡」



中世、小泉庄南部にあった色部氏の築城。昭和53年9月に国の史跡として指定されました。

神林岩船港ICから車で10分

15 要害山



国指定史跡「平林城跡」の山城跡としても知られ、自然豊かな史跡の森として親しまれている。山頂までは約40分。標高283m。

神林岩船港ICから車で10分

16 平林不動滝（平林）



平成26年10月に「新潟県の名水」として選定。水質が良好で、地域の財産として大切にされている。御不動様登り口から徒歩50分

神林岩船港ICから車で10分

17 千眼寺（平林）



色部公の菩提寺として永正七年に建立されたが、慶長3年（1598年）、色部公の米沢金山城へ移城により彼地に移り、後に甫庵祖尊和尚が再興した。

神林岩船港ICから車で10分

18 水辺の楽校（がっこう）（湯ノ沢）



桜の名所としても有名で、市内外からも多くの方が訪れる。また、キャンプサイトは、バーベキューなどを楽しむキャンプ客で賑わいを見せる。

神林岩船港ICから車で10分

19 荒川神社（小岩内）



延喜式神名帳（927年当時、「官社」に指定されていた神社一覧）に記載されていた神社。

神林岩船港ICから車で13分

かみはやし名所マップ

ミーティングでも出た神林地区の歴史・名所についてご紹介します。

1 湊神社（七湊）



延喜式神名帳（927年当時、「官社」に指定されていた神社一覧）に記載されていた神社。

神林岩船港ICから車で10分

2 国指定史跡「山元城跡」（下助測）



今から1900年前の弥生時代後期の集落跡で、日本海側最北の高地性環濠集落。平成28年10月に国の史跡に指定されました。

神林岩船港ICから車で10分

3 金剛院（指合）



鎌倉時代末のものと思われる中世板碑と釈迦如来座像が祀られている。

神林岩船港ICから車で15分

4 ポーラースター神林（南大平）



ツインドームの天体観測施設で、大型望遠鏡を2台配置しており、すばらしい星空が一望できる。公開日は、お問い合わせください。（神林支所産業建設課 0254-66-6114）

神林岩船港ICから車で20分

5 南大平ダム湖公園（南大平）



大自然が満喫できる静かな湖畔のキャンプ場。炊事場、かまど、ファイヤーサークル常設。昨今のアウトドアブームにより、県外からの愛好家も訪れる穴場的スポットとなっている。

神林岩船港ICから車で20分

6 光浄寺（有明）



越後三十三観音霊場の第二十七番礼所。

神林岩船港ICから車で10分

7 ホテルの里（河内）



ゲンジボタルとハイケボタルが生息し、更に西日本型と東日本型の両方を見ることができる珍しい場所。

神林岩船港ICから車で13分

8 おたきさま（多伎神社）



延喜式神名帳（927年成立）に記載され、落差約5mの滝を祀った神社。現在は、集落内にある「桃川神社」に合祀されている。

神林岩船港ICから車で13分

9 お幕場・大池公園（北新保）



美しい赤松林に囲まれた広さ約3haの砂丘湖。白鳥の飛来地としても有名で、市内外から多くのカメラ愛好家が訪れる。

神林岩船港ICから車で3分

バルパーク神林（神林総合体育館）

1周200mのランニングコースとトレーニングルーム、柔剣道場を備える体育館。休日には多くのイベントが催されている。

神林岩船港ICから車で3分



主な施設等	
☉	神林支所
🚉	道の駅
🏠	バルパーク神林
🏢	農村環境改善センター
📮	郵便局
🎓	小学校
🎓	中学校
👨‍👩‍👧	保育園
🏢	商工会
🏠	JA
🏪	コンビニ
🛢	ガソリンスタンド

10月24日に開催した「カボチャのお化け＆
気になるかかし祭り」でのベストショットを
掲載します！

Best Shot!!!



film01：設営終わりで記念撮影！

10月24日、道の駅神林「穂波の里」にかかしとカボチャのランタンの設営を終え、参加した委員で記念すべき活動初年度の記念撮影。コロナ禍のため、規模を大幅に縮小しての開催となりましたが、活動を行うことができ、皆さん安堵の表情をいただきました。



film02：かかしと記念写真
とれたて野菜市(株)代表の川崎澄子さん。かかしまつりに出展
とれたての自慢のハロウィンかかしと一緒にピース。マスクで隠れて
いて、ステキな笑顔が見れずちょっと残念。



film04：親子のふくろう

今回は、すすきで作成したふくろうを道の駅に展示。約30体のふくろうが並びました。コロナ禍のため、例年よりかかしの展示が少ない中で、くりくりした眼でこちらを見ているふくろうに癒されました。



film03：委員でイベント準備

イベント当日、神林支所に集合し、かかし、ふくろうの作成、カボチャのランタン作りの班に分かれて作業開始。ひとつひとつ心を込めてくり抜いたカボチャのランタンは、子どものようにいとおいしい(笑)



film05：暗がりに輝くカボチャランタン

10月25日の一晩のみ、カボチャのランタンをライトアップ。暗がりに光り輝くジャンボカボチャのランタンの表情が頼もしく見えました。



film06：コロナに負けののでがんばるで
新型コロナウイルス感染症に振り回された令和2年度。皆さんの心の叫びを文字にすると、方言になっちゃいました(笑)だけど、この表現が一番伝わるんです！！